

第1章

住生活基本計画とは

1-1 計画策定の背景と目的	2
1-2 計画の位置づけ	2
1-3 計画期間	3



1-1 計画策定の背景と目的

国においては、現在及び将来における国民の豊かな住生活を実現するため、平成 18(2006)年 6 月に住生活基本法を制定し、住宅政策の基本的な指針となる「住生活基本計画(全国計画)」を策定しました。これにより、これまでの「住宅の量の確保」から「住生活の質の確保」へと本格的な政策転換が図られました。

その後、少子高齢化・人口減少が急速に進行する中、自然災害の頻発化・激甚化や脱炭素社会の実現など、社会経済情勢の変化や現状と課題に対応するため、令和 3(2021)年 3 月に、新たな全国計画(令和 3 年～令和 12 年度)が閣議決定されています。

また、千葉県においては、「千葉の未来を切り開く！豊かな住生活～社会の変化や多様化する価値観に対応した豊かな地域社会と住まいの実現～」を理念とした、「第 4 次千葉県住生活基本計画」を策定しています。

本市においては、全国的には人口減少が進んでいるなか、当面の間は人口が増加する見込みとなっています。

しかし、将来的な人口減少を見据え、緑豊かで良質な住環境と、快適な都市環境の整備及び子育て・教育環境の充実に努め、「住み続ける価値の高いまち」を目指すとともに、住生活の「質」の向上に向けた、住宅政策の目標や施策を総合的に推進するため、本市の特性や実情に合わせた住生活基本計画を策定しました。

1-2 計画の位置づけ

本計画は、上位計画である「流山市総合計画」の住宅分野の個別計画であり、本市の住宅政策の基本的指針となります。また、「住生活基本計画(全国計画)」及び「第4次千葉県住生活基本計画」との整合を図るとともに、本市の関連計画と整合・連携しています。

また、平成 27(2015)年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 SDGs※」の達成に向けた取り組みにもつなげていきます。

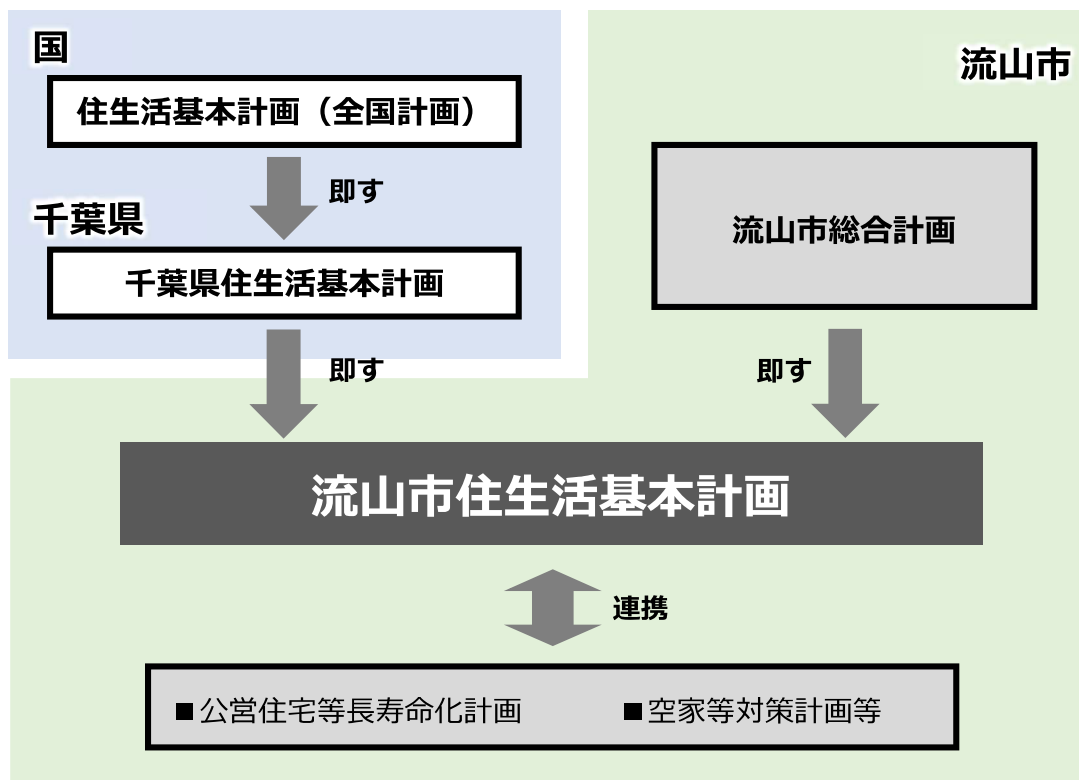


図 計画の位置付け

※ 持続可能な開発目標SDGs

SDGsとは、平成27(2015)年国連サミットで採択された国際社会全体の開発目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)・169のターゲット(取り組み)から構成されており、そのうち本計画と関連性が高い目標として以下のものが挙げられます。



出典:持続可能な開発目標(SDGs)推進本部資料

1—3 計画期間

本計画の計画期間は、令和4(2022)年度から令和13(2031)年度までの10年間とします。

本計画の上位・関連計画の改定等が実施された場合には、その改定等の内容に応じ、本計画に基づく施策についても見直しを検討します。

